

# 質疑・質問

9月定例会の  
主な質問項目

## 8 樋田和美議員

- ①環境問題
- ②安心安全のまちづくり
- ③ふるさと納税

## 9 大野新策議員

- ①市長の政治姿勢
- ②肱川の治水
- ③消防
- ④循環型バス
- ⑤原油高騰対策
- ⑥介護支援事業
- ⑦教育問題

<b>1 山下勝利議員</b>	方
④高齢化に伴う介護施設のあり	
⑤全国学力・学習状況調査	
⑥放課後子どもプラン	

## 2 山本光明議員

- ①財政問題
- ②人事
- ③山鳥坂ダム
- ④環境

## 5 中野寛之議員

- ①農林水産業の振興
- ②行財政運営
- ③教育問題
- ④商業振興
- ⑤市長の政治姿勢

## 6 西村 豊議員

- ①農林業への対策
- ②自主防災組織の強化
- ③ふるさと納税制度
- ④バイオマスの利活用

## 7 上田栄一議員

- ①総合計画
- ②財政
- ③ふるさと納税
- ④山鳥坂ダム
- ⑤裁判員制度
- ①農林業への対策
- ②人事
- ③山鳥坂ダム
- ④環境
- ⑤学校教育

## 3 安川哲生議員

- ①農林水産業の振興
- ②行財政運営
- ③教育問題
- ④商業振興
- ⑤市長の政治姿勢

## 4 武田雅司議員

- ①財政健全化法
- ②財政状況の開示
- ③公共下水道整備
- ①農林水産業の振興
- ②行財政運営
- ③教育問題
- ④商業振興
- ⑤市長の政治姿勢

**答** 運行形態、周辺部対策について

現在、本市で計画をしている循環バスについては、一部の区間が重複していますが、2路線をそれぞれ4便ずつ運行する予定としています。

そこで、長浜や肱川から中心部のほうに運行されていまます2つの民間事業者の路線バスがありますので、循環バスの運行区域内での乗り降りに限り、既存の路線バスについてもワンコイン

ように運賃差額の利用者助成制度の創設を計画しています。このことにより、民間事業者の路線バスも含めると、時間帯によって多いときには1時間に3便程度を確保することができます。

日々の運行を平均すると、約27分に1便の運行になるもので、

周辺部については、現在スクールバスを初めて目的に応じたバスが運行をされていまして、重複路線や利用者が少ない路線もあります。

今後、保育所や小学校の統

## 循環バス

遠距離通学者が利用する  
スクールバス



**問** 財政に与える影響について

公共下水道事業特別会計には、建設に係る起債の償還や維持管理経費に對して一般会計から多額の繰り出しが行われています。

本来、下水道事業などの特別会計は、独立採算制が原則であり、総務省作成の地方公営企業繰出金による基準として普通交付税に算入される額以外は使用料で賄うべきものであると考えています。

当市における下水道事業に対する繰り出しについて

は、平成19年度繰出金のうち約31%、約1億2,000万円が基準に基づくものであり、残り69%の約2億7,000万円程度は基準以外となり、事業に対する補てんとして支出している

廃合にあわせて目的別のバスを統合したコミュニティーバスや乗り合いタクシーまたはスクールバスの住民利用による運行を計画していると考えています。

## 公共下水道